

NEWS RELEASE

2019 年 12 月 6 日
株式会社三菱総合研究所**三菱総合研究所、キャッシュレスの推進に関するモデル事業を東京都から受託
大丸有地区にて 2020 年 1 月から実証開始！時差 Biz の推進実証参加企業を募集！**

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝、以下 MRI)は東京都が実施するキャッシュレスの推進に関するモデル事業「オフィスエリア型」を受託し、2020 年 1 月～2 月に千代田区大手町・丸の内・有楽町地区(以下 大丸有地区)にて実証実験を行います。

同事業は、大丸有地区内で独自のポイント(「東京ユアコイン(オフィス型)」)を発行することにより SDGs 活動を喚起するとともに、「東京ユアコイン(オフィス型)」の利用によりキャッシュレス化を促進し、それらの効果を検証することを目的としています。今回の実証実験では、SDGs 活動テーマの一つである「時差 Biz の推進」実証に参加を希望する企業を募集します。

1. 背景・経緯

東京都では、経済発展と社会的課題の解決を両立する「Society5.0」の実現を加速させていくため、キャッシュレスの推進に関するモデル事業を実施します。同事業では、経済的価値あるポイントとして「東京ユアコイン」(※1)を発行します。今年度は、SDGs 活動へのポイントの付与が、同活動への参加に対する意識・行動の変化や決済のキャッシュレス化に及ぼす影響について効果検証を行うため、「生活エリア型」と「オフィスエリア型」、それぞれのモデル事業の実施主体が公募されました。

MRI は、2017 年度より取り組んでいる「デジタル地域通貨事業」で構築したプラットフォームを「東京ユアコイン(オフィス型)」の発行の仕組みに活用し、将来的な展開を検討すべく、同事業の「オフィスエリア型」に応募し、採択に至りました。

※1「東京ユアコイン」:東京への社会的・経済的な貢献を行い SDGs の推進に寄与した都民等に対して発行するポイント。今年度のモデル事業では「生活エリア」では「生活型」、「オフィスエリア」では「オフィス型」を発行。

2. モデル事業の特徴

MRI が採択された「オフィスエリア型」事業は、多くのオフィスワーカーや来街者が集まる立地特性を活かした SDGs 活動を誘発するモデルの検証を目的としています。日本を代表するビジネスと文化の中心地である大丸有地区にて、「時差 Biz」(※2)や「プラスチックごみの削減」などの活動を誘発する実証実験を行います。なお、発行した「東京ユアコイン(オフィス型)」は、大丸有地区内の連携店舗等での利用やさまざまなポイントへの交換が可能で、キャッシュレス化を促進するとともに、SDGs 活動団体に寄付できる仕組みも設けます。実証実験の概要は「別紙1」をご参照ください。

本実証は株式会社三菱 UFJ 銀行、三菱地所株式会社など、地域の関係企業・団体の協力を得ながら推進します。

※2 通勤ラッシュ回避のために通勤時間をずらしたり、テレワークなどを活用したりする働き方改革のひとつ

3. 時差 Biz 実証の参加企業の募集

実証期間中に、本事業と連携して時差 Biz の推進実証に参加していただける企業を募集します。詳細は「別紙2」をご参照ください。

4.今後の予定

2020 年 1 月～2 月に大丸有地区にて実証実験を実施し、今年度中に実証実験の効果や課題を整理したうえで将来像を検討します。

MRI では、「デジタル地域通貨プラットフォーム」を開発し、2017 年～18 年に近鉄グループホールディングス株式会社と共同で大阪あべのハルカスにおいて「近鉄ハルカスコイン」の社会実験を二度にわたって実施しました。さらに、先月 11 日から伊勢志摩地域において観光客向けの地域通貨「近鉄しまかぜコイン」の発行も開始しました。今回の東京ユアコインも含めた数多くの実証を通じて本格実用化に向けた検討を行うとともに、今後は、MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)と密に相互連携したサービスも模索していきます。将来的には、多様な地域において経済発展と社会的課題の解決を両立するサービスの提供を目指していきます。

別紙1:大丸有地区の実証実験の概要(予定)

別紙2:時差 Biz の推進に関心のある企業の参加を募集しています！

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

イノベーション・サービス開発本部 早川、奥村、加藤
地域創生事業本部 新谷
電話:03-6858-3593 メール:tokyo-coin@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp

大丸有地区の実証実験の概要（予定）

別紙1

- ・対象地区・対象者：千代田区大手町・丸の内・有楽町地区のオフィスワーカー・来街者
- ・実証期間：2020年1月～2月
- ・付与ポイント：2,500万ポイント（1ポイント1円相当）※実証期間終了前に付与ポイントが上限に達した場合は、その時点で終了します
- ・具体の取組：下図参照。

※詳細確定次第、実証開始前に改めてプレスリリースを実施予定

SDGs活動の誘発（東京ユアコインの付与機会）

各オフィスワーカーのSDGs活動に対し、
貢献の対価としてポイントを付与

キャッシュレスの推進（東京ユアコインの利用用途）

実証期間中に大丸有内の対応店舗での
支払いにポイントを利用

SDGs貢献活動（イメージ、詳細調整中）

①時差Biz推進

【例】

- ・朝〇時までに出社したら〇ポイント
- ・朝や夜に大丸有で実施される〇〇イベントに参加したら〇ポイント付与

②プラスチックごみの削減

【例】

- ・マイバッグ持参など、レジ袋なしで買い物をしたら〇ポイント
- ・リユース可能な容器を使ったお弁当を購入し、返却したら〇ポイント

など



時差Bizの推進に関心のある企業の参加を募集しています！

別紙2

～本実証と連携し、貴社の時差Bizを推進しませんか？～

- 別紙1に記載の実証の全体像のうち、「早朝出勤や早め退社、テレワーク等による時差Biz」に関する実証は、大丸有地区に事業所を有している企業様のうち、時差Bizに取り組むあるいは関心のある企業様と連携することを想定しています。
- 本実証で連携する場合、以下のご提供が可能です。
 - 本実証のアプリ環境を使った社員の方の時差Biz実証の実施
 - 時差Biz活動をされた社員の方へのインセンティブ（東京ユアコイン（オフィス型））の付与（本実証予算からご提供）
 - 実証期間中、実証予算の上限に達した段階で実証が終了になることがあります。
 - 上記に必要な環境（機器などについては数に制約があるため、ご相談することがあります）

※時差Bizを計測するためのQRコードを搭載するタブレットの設置場所、具体の運用方法などは、各企業様とご相談のうえ検討させていただきます。

- ご参加希望、ご関心のある企業様は、12月16日までに下記にお問い合わせいただければ幸いです。

問い合わせ先：本実証担当 Email：tokyo-coin@ml.mri.co.jp

なお、参加希望が多い場合、ご希望に添えないことがあります。

